

水土里ネットやまなし 第57回通常総会開催

第56回土地改良功労者表彰式



水土里ネットやまなしは、去る三月二十六日（木）午後二時より山梨県自治会館講堂において、第五十七回通常総会ならびに第五十六回土地改良功労者表彰式を行いました。

総会は、保坂武副会長（甲斐市長）の開会のことばに続き、白倉政司会長（北杜市長）より冒頭、後藤斎山梨県知事、白井成夫県議会議長、大田武志関東農政局整備部長他、多数の来賓の方々、ならびに会員各位多数の出席に対するお礼と本会の日頃の円滑な運営に対する多大なるご支援・ご協力に対する感謝及び、受賞される表彰者に対しての敬意を述べました。

さらに、「昨年十月三十日開催の全国土地改良大会山梨大会におきましては、全国各地より来賓、関係者併せて「約三、八〇〇名」の参加をいただき盛大かつ成功裡に終了することが出来ました。事業視察におきましても「約二、三〇〇名」の方々に本県の新しい農業分野などを視察していただきました。併せて世界文化遺産の富士山をはじめとした多くの観光資源などの山梨の魅力を存分にPR出来たと思います。これもひとえに、農林水産省をはじめ山梨県、県内市町村、会員の皆様、関係団体等のご支援と、ご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。昨年は、二月の記録的な大雪をはじめ、集中豪雨、御獄山の噴火など自然災害が多発し、本県においても、農業用ハウ

スなどに甚大な被害が発生した年でありました。現在も、国などの支援をいただく中で、農業用ハウス等の再建・修繕の完了に向け、その対策に携わられている方々のご苦勞に対しまして、深く感謝申し上げます。

また、東日本大震災から四年が経ちましたが、現在も県農政部耕地課関係職員をはじめ全国から多くの方々が派遣され支援をしているときいております。一刻も早い復旧・復興を願うものであります。

農業農村を取り巻く情勢に目を向けますと農業の担い手不足、高齢化、耕作放棄地の増加など非常に厳しい状況下にあります。また、ため池を含む農業水利施設などの老朽化も深刻であり、大規模自然災害はもちろんのこと、県民の生命と財産を守るための農村地域の防災・減災が喫緊の課題となっております。

平成二十七年度の農業農村整備事業関係予算は、現在国会で審議中であり、二十六年を若干上回る予算案となっておりますが、本県の強い農業を実現するためには、適切な事業費の確保が是非とも必要であります。県におかれましては、農地中間管理機構の機能を最大限に発揮し、農地の流動化を積極的に推進出来る体制が昨年からスタートしております。新規就農者や企業などの多様な担い手のニーズにあった農地の集約化や基盤の条件整備を行い、農業競争力の強化を図って行くこととしております。本会



発行所

甲府市蓬沢1-15-35
山梨県自治会館5階
電話 055(235)3653
FAX 055(228)8174
山梨県土地改良
事業団体連合会
会長 白倉 政司



農業の未来をひらき
緑なすやすらぎのふる里を
豊かな国土を守り育てる
土地改良を推進しよう

みなさんの連合会です

- ◆ 農業農村整備事業調査設計
- ◆ 換地確定測量業務
- ◆ 施設の診断、相談等
- ◆ 経験豊かで信頼ある連合会へ



総会場

議会議長、
農林水産
省関東農
政局整備
部長、県
選出国会
議員秘書
他来賓の
皆様が
席される
中、土地
改良事業
功労者表
彰式が行
われ、県
下の農業

では、会員の皆様の行う土地改良事業に関する技術的指導及び援助はもとより、農地中間管理事業や多面的機能支払交付金等の各種施策の推進に貢献していきたいと考えております。さらに、「水土里情報システム」を活用した新たな取り組みとして、『3D空間設計・解析システム』を導入しました。このシステムは、今までの平面的視点に加えて、今度は、立体的な視点から土地の形状や高さ、周辺との接続状況、鳥瞰図などを確認できるようにしました。会員の皆様におかれましてはこれからの各種「基本構想づくり」にご利用いただきたいと考えております。

「水土里ネットやまなし」として、農業農村を取り巻く社会情勢の変化や広く農村地域の人々のニーズを的確に捉え、本県の農業振興と農村の活性化について会員の皆様と共に関係機関のご支援をいただく中、努力して参りたいと考えております。今後におきましても、国・県などのご指導、ご支援をお願い申し上げます。」と挨拶を述べました。

提出議案

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 第1号議案 | 平成25年度事業報告・収入支出決算並びに財産目録の承認について |
| 第2号議案 | 平成26年度収入支出補正予算について |
| 第3号議案 | 平成27年度事業計画について |
| 第4号議案 | 会費の賦課徴収方法並びに受託料算定基準について |
| 第5号議案 | 平成27年度役員報酬について |
| 第6号議案 | 平成27年度収入支出予算について |
| 第7号議案 | 一時借入金の限度額並びに借入方法について |
| 第8号議案 | 余裕金の預入先について |
| 第9号議案 | 役員の選任について |

農村整備事業の推進に尽力された団体、個人に表彰状及び記念品が、また感謝状及び記念品が本会役員、県職員に贈呈され、その功績をたたえました。

引き続き来賓の祝辞を後藤斎山梨県知事、白井成夫県議会議長、大田武志関東農政局整備部長よりいただきました。

また、来賓者として山里直志山梨県農政部長、県農政部の幹部の方々、県選出の国會議員秘書の方々、並びに県土地改良関係の方々の紹介を行いました。全国土地改良事業団体連合会野中広務会長、県選出の国會議員からの祝電を披露しました。

土地改良事業功労者表彰では、白倉会長

により議事録署名人として、飯野健彦小曲
土地改良区理事長、齊藤勝人龍岡土地改良
区理事長を、書記に本会職員二名を任命し
議事に入りました。



後藤斎知事挨拶

より団体、
個人に表
彰状、感
謝状及び
記念品が
贈呈され
ました。
表彰式終
了後、議
長に細田
静雄村山
六ヶ村堰
土地改良
区理事長
を選任、
議長指名

後藤育知事挨拶

団体の部

御勅使川沿岸地区推進協議会

個人の部
(順序不同)

小澤隆二	北杜市産業觀光部 農政課長
小早川浩	上野原市 副市長
山口幹夫	道志村 會計管理者
田中寿二	丹波山村 振興課長
三浦孝平	富士河口湖町 農林課課長補佐

感謝状贈呈者（土地改良連合会役員）

横内 公明 前理事

感謝狀贈呈者（山梨県農政部耕地課関係）

山本 重高 農政部技監
高橋 喜隆 出納局工事検査課
工事検査監

また九号議案として任期満了に伴う役員
の選任が審議されました。詮衡委員会にお
いて各農務事務所より推薦された、十五名
より定款第十八条で規定されている理事十
二名、監事三名の役員候補者が審議され、
詮衡委員長より総会に報告され、満場一致
で承認されました。

新役員より互選が行われ会長に北杜市長
白倉政司様、副会長に甲斐市長保坂武様、
甲州市田辺篤様、専務理事に加藤啓様、総
括監事に徳島堰土地改良区理事長の野田正
資様が選任されました。

(次ページ)新役員紹介参照



功勞者表彰

第五十六回

土地改良功勞者表彰
並びに感謝状贈呈

新役員のご紹介

平成二十七年四月一日(任期二年)



専務理事
学識経験者
加藤 啓
(再任)



副会長
甲州市長
田辺 篤
(再任)



副会長
甲斐市長
保坂 武
(再任)



会 長
北杜市長
倉政 司
(再任)



理 事
笛吹川沿岸土地改良区理事長
山梨市長
望月 清 賢
(再任)



理 事
都留市長
堀内 富 久
(再任)



理 事
笛吹市長
倉嶋 清 次
(再任)



理 事
中央市長
田中 久 雄
(再任)



理 事
丹波山村長
岡部 政 幸
(再任)



理 事
市川三郷町長
久保 眞 一
(再任)



理 事
身延町長
望月 仁 司
(再任)



監 事
楯無堰土地改良区理事長
今村 正 城
(新任)



監 事
上野原土地改良区理事長
奈良 明 彦
(新任)



総括監事
徳島堰土地改良区理事長
野田 正 資
(再任)



平成二十七年を迎えて

山梨県農政部長 橋 田 恭

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節になりました。

山梨県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様方には、日頃から県政推進にあたって深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、昨年の十月三十日にアイメッセ山梨で開催された第三十七回全国土地改良大会山梨大会は、「富士の国やまなし発 かがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良」の大会テーマのもと、全国各地から農業農村整備に携わる三千六百人を超える関係者が参加され、盛大な大会となりました。

大会を通じて、本県の農業・農村の魅力を全国に発信できたことは、たいへん有意義なことであり、この大会を成功裏に終えることができたのは、ひとえに大会の主催者であります山梨県土地改良事業団体連合会の皆様のご尽力によるものであり、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、国においては、三月三十一日に我が国の農業・農村が、将来にわたってその役割を適切に担っていくよう、施策の改革や国民全体による取組を進めるための指針となる新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたところであります。

この基本計画では、農業や食品産業の成長産業化を促進する「産業政策」と多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」とを車の両輪として食料・農業・農村施策の改革を着実に推進することとされております。

また、農業農村整備事業については、農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保全管理、農村地域の強靱化に向けた防災・減災対策などを推進していくことになっております。

県では、二月に後藤斎知事が就任し、「ダイナミックやまなし プラチナ社会構想」の実現に向けて、県の総合計画の策定を進めております。

この計画の策定にあたって、農業分野では、儲かる農業を展開していくため、果実をはじめとする県産農産物の高品質化と新商品の開発や海外に販路を積極的に拡大するなど需要拡大に向けた戦略的な取組、農地中間管理機構が行う農地集積、また、これらを進めるためのほ場や農道等の基盤整備の推進などの施策を盛り込んでいきたいと考えております。

また、これらの取り組みを具現化していくため、五年先を目標とする農業振興の基

本指針として新たな農業施策大綱を策定し、積極的に取り組んでいく考えであります。農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況であります。効果的・効率的な施策の推進に努めますので、今後と

も県政推進へご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の皆様のご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

平成27年度 山梨県の農業農村整備の推進方向

1. 儲かる農業を支える生産基盤整備の推進

① 農地中間管理機構と連携した農地集積の推進

○農地中間管理事業を活用しつつ、担い手への農地集積を促進するため、ほ場整備等の生産基盤の整備を推進します。

〈主な事業〉

農地環境整備事業
経営体育成基盤整備事業
耕作放棄地解消・
発生防止基盤整備事業
県単農地集積基盤整備事業 等



農地環境整備事業 天王原地区

② 果樹生産基盤の再生と新産地形成の推進

○果樹王国やまなしを支える果樹生産基盤の再生と醸造用ぶどう等の新産地の形成を推進します。

〈主な事業〉

畑地帯総合整備事業
中山間地域総合整備事業
県単果樹団地化促進支援事業 等



畑地帯総合整備事業 明野地区

③ 野生鳥獣による農作物への被害防止対策の推進

○野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、侵入防止施設の整備を推進します。

〈主な事業〉

畑地帯総合整備事業
中山間地域総合整備事業
農地環境整備事業
県単鳥獣害防除事業 等



中山間地域総合整備事業 市川大門地区

2. 災害に強い、活力に満ちた農村づくりの推進

① 農村地域の防災・減災対策の推進

○災害の未然防止と発生時の被害の軽減を図るため、土砂崩壊防止施設や土地改良施設の老朽化・耐震化対策を適切に実施し、災害に強い農村づくりを推進します。

〈主な事業〉

ため池等整備事業
農村災害対策整備事業
団体営調査設計費（耐震化調査） 等



ため池等整備事業 西野原地区

② 既存土地改良施設等の長寿命化対策の推進

○老朽化が進行する農業水利施設等のライフサイクルコストの低減を図るため、効果的な長寿命化対策を推進します。

〈主な事業〉

かんがい排水事業
一般農道整備事業
国営施設機能保全事業 等



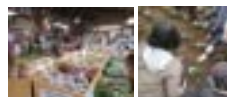
かんがい排水事業 釜無川右岸地区

③ 農村活性化に向けた都市農村交流や住民活動の推進

○都市農村交流を促進するための拠点施設の整備や地域ぐるみで取り組む住民活動への支援など、農村地域への移住・定住の増加を促進するための取り組み等を推進します。

〈主な事業〉

中山間ふるさと水と土基金事業
山村振興等農村漁業対策事業等



農産物直売所 地域住民活動

山梨県農政部人事

平成二十七年四月一日付、県職員人事異動が発令されました。
農政部及び、各農務事務所の幹部職員は次のとおりです。

農政部

部長 橘田 恭
次長 大熊 規義
技監 西野 孝
技監 渡邊 祥司
企画調整主幹 安藤 隆夫
部付主幹 望月 啓治
部付主幹 清水 一也
部付主幹 八巻 武正
部付主幹(土地連) 山根 正人
部付主幹(農業振興公社) 中村 毅

農政総務課

課長 丹澤 尚人
総括課長補佐 広瀬ひとみ
農政企画監 武井 和人
指導検査監 田中 喜文
課長補佐 加藤 栄佐
課長補佐 勝保 匡章
課長補佐 向山 一弘
課長補佐 上田 浩二

農村振興課

課長 伏見 勝
課長補佐 斉藤 茂
課長補佐 小林 栄司
課長補佐 功刀 徹

課長補佐 佐藤 勝也
課長補佐 小野 健一

耕地課

課長 福嶋 一郎
総括課長補佐 穂坂 芳朗
技術指導監 渡辺 茂
換地管理員 藤巻 慎司
課長補佐 茂手木 知
課長補佐 浅川 一輝
課長補佐 原田 武

中北農務事務所

所長 田中 道彦
次長(事) 福島 一雄
次長(技) 武井 和仁
担い手対策幹 千野 浩二
農村整備振興幹 寺島 伸司
工事施工管理幹 平賀 哲夫
地域農政課長 細川 洋一
農業農村支援課長 網倉 亨
農業基盤第一課長 古屋 勝
農業基盤第二課長 青柳 謹吾

峡東農務事務所

所長 小野 光明
次長(事) 榎原 茂
次長(技) 塩入 栄
担い手対策幹 中込 正人
農村整備振興幹 山田 英樹
工事施工管理幹 小澤 正男
地域農政課長 山本 林仁
農業農村支援課長 鈴木 幾雄
農業基盤第一課長 保延 宏治
農業基盤第二課長 向山 直樹

峡南農務事務所

所長 田中 真
次長(事) 山村 武敏
次長(農村整備振興幹事務取扱) 奥水 秀之
担い手対策幹 鈴木 信男
工事施工管理幹 望月 修
(農業基盤課長事務取扱) 古屋 泉
地域農政課長 伴野 正明
農業農村支援課長 萩原 修
富士・東部農務事務所

富士・東部農務事務所

所長 萩原 修
次長(事) 相沢 潔
次長(技) 功刀 久
(担い手対策幹兼務) 岩間 浩
農村整備振興幹 小倉 隆宏
工事施工管理幹 横小路 稔
地域農政課長 佐野 哲男
農業農村支援課長 横小路 稔

退職者

農政部関係

農政部 技監 山本 重高
出納局 工事検査課 高橋 喜隆
工事検査監

本会人事

平成二十七年四月一日付本会職員の人事を次のとおり発令しました。

参事(県出向)

事業部第一部長 山根 正人
事業部第二部長 竹川 史人
事業部事業課第一課長 宮川 三男
事業部事業課第二課長 堀口 徹
事業部事業課第三課長 清水 浩樹
深澤 雅志

指導換地担当リーダー(課長補佐)

指導換地担当副主査 降旗 宏至
指導換地担当主事 大柴英理香
指導換地担当技師補 竹田 圭佑
指導換地担当専門員 高橋 一郎

設計積算担当リーダー(課長補佐)

設計積算担当主査 窪田 昌幸
設計積算担当主任 津久井 巧
設計積算担当技師 中山伊智郎
設計積算担当専門員 中澤 大輔
新奥 長生

調査計画担当リーダー(課長補佐)

調査計画担当推進幹 清水 道浩
調査計画担当副主査 根岸 利文
調査計画担当副主査 河野 英司
調査計画担当主任 水川 一成
調査計画担当主任 熊王 広幸
調査計画担当技師 内藤 裕己
調査計画担当 備 前田 祐希

全国土地改良事業団体連合会 第五十七回 常 総 会

全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）の第五十七回通常総会が去る。三月二十五日（水）東京都千代田区平河町・都市センターホテルにおいて、各都道府県の水土里ネット会員並びに関係者多数出席のもと開催された。

野中広務会長は冒頭の挨拶の中で、「平成二十七年予算は、三月十六日に衆議院において審議中であり、一日も早い成立を見て各地に配分され、実効があるよう期待している。全国水土里ネットとしても、国、都道府県と一体となって、これらの執行がより有効なものになるよう、率先して努力してまいりたいと考えているので、皆様のご協力をお願い申し上げます」と述べました。

議長に、田中源一・佐賀県土連会長を選出し議事に入り、平成二十五年度収入支出決算、平成二十六年度収入支出補正予算、平成二十七年事業計画及び収入支出予算等全十二議案を全会一致で承認可決しました。

任期満了に伴う役員選任では、詮衡委員九名による詮衡委員会で協議した結果、推薦された理事十五名、監事三名を総会に諮り全会一致で新役員として承認可決されました。引き続き、新役員による互選を行い、和歌山土地連会長の二階俊博氏を会長に、副会長に秋田県土連会長の高貝久遠氏、長野県土連会長の中原正純氏、専務理事に中條康朗氏、また、本年度で会長を退任される野中広務前会長を名誉会長にとの報告を受け、総会に諮り全会一致で承認されました。

二階新会長は、新任の挨拶で「歴史・伝統のある全国土地改良事業団体連合会の会長に就任し、身の引き締まる思いであります。課題は多々あるが、土地改良ここにあり、土地改良がこれからの日本の農業を新しくしていく、ということ現場で働いておられる農家の皆さんに、我々のメッセージが届くように努力をしていきたい。このような決意を申し上げ私の挨拶とする」と述べました。

続いて、野中会長が退任の挨拶で「京都府連の会長に就任してから、既に二十七年間が過ぎた。これまで土地改良関係の皆様には大変お世話になったが、これからは二階新会長を中心に、次の世代を担っていかれる方々が当会を盛り立てていただければ幸いです。これからも、これまで先人の方々に培われてきた土地改良の伝統がしっかりと後世に伝えられるとともに、当会が益々繁栄され、我が国農業農村の未来が、土地改良の役割とともに輝かしいものとなることを祈念している」と述べられました。全国土地改良事業団体連合会の役員は次の方々です。

全国土地改良事業団体連合会第十五期役員名簿

▽会長理事	和歌山県土連会長	二階 俊博
▽副会長理事	秋田県土連会長	高貝 久遠
▽専務理事	長野県土連会長	中原 正純
▽専務理事	京都府土連会長	野中 広務
▽専務理事	中條 康朗	中條 康朗
▽専務理事	吉田 秀雄	吉田 秀雄
▽理事	三重大学教授	春山 成子

北海道土連会長	塩尻 芳央
栃木県土連会長	大久保壽夫
石川県土連会長	西村 徹
愛知県土連会長	神谷 金衛
鳥取県土連会長	木村 肇
山口県土連会長	吹田 惺
大分県土連会長	義経 賢二
鹿児島県土連会長	永吉 弘行
埼玉県土連会長	柴田 忠雄
福島県土連会長	車田 次夫
高知県土連会長	橋詰 壽人

決議案では、次の八つの事項の実現を図り、農業農村整備事業を推進していくことを確認、これを全会一致で決議として採択した。

決 議

□安定的・計画的な事業執行のために、平成二十八年年度当初予算においては、平成二十二年年度に大幅に削減された農業農村整備予算の着実な回復が実感でき、現場のニーズに答えられる規模を確保すること。さらに、補正予算が編成される場合には、必要な予算処置を講ずること。

□TTP交渉に当たっては、衆参両院の国会議決を踏まえ、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影響を及ぼすようなことは、国として断行わないこと。

□食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、コスト低減や高品質な農作物の生産など力強い農業の展開を可能とするため、水田の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を着実に推進すること。その際、中山間地域等の地域特性を踏まえた基盤の再

整備により農業経営の展開が可能となるよう十分に配慮すること。

□東日本大震災を始めとする災害からの復旧・復興を加速度的に進めるとともに、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設等の長寿命化と耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を国が責任を持って着実に推進すること。

□多面的機能支払制度の推進に当たっては、国において、十分な予算確保に加え、地域協議会や土地改良区がこれまでに培った技術、経験などもてる能力を十分発揮できるように、都道府県を指導すること。

□農地中間管理事業の推進に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、地図情報システムを活用し、担い手の育成や面的集積、行政機能の補充など制度の円滑な推進に貢献すること。また、その際は、国においても、十分な予算確保を行うこと。

□農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力発電等を推進すること。

□構造改革の推進による組合員の減少や電力料金の値上げ等により運営基盤が大きく揺らぐ一方で、担い手への農地集積等により高度な維持管理が求められるなど、今後とも構造改革に対応した維持管理が行われるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること。

全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット表彰式が、三月二十五日午後三時から、東京都シェーンパツハ・サボーで開催され「第五十六回全国土地改良功労者表彰」「平成二十六年農業農村整備優良地区コンクール表彰」「二十一世

力強く進んでいくよう支援と協力を来場者に求めました。



林芳正大臣来賓挨拶

主催者を代表し、全国水土里ネット野中広務会長は祝辞の中で、表彰関係者の功労、栄誉を称え、「それぞれの地域において長年にわたり農業農村の発展に努力され、多大な功績を残された方々ばかりです。長きにわたり風雪に耐え抜いてきた力と、その豊富な経験、識見は、我が国の農業農村を発展させていく上で特に貴重なものと考えている。受賞者には、今後とも引き続きそれぞれの立場で一層ご指導してもらい、土地改良事業の推進と地域の進行に尽力するようお願いしたい」と要請しました。また、野中会長は、本年度で会長職を退任するが、二階新会長の下で新しい農業農村づくりが



野中広務会長挨拶

紀土地改良区創造運動表彰」が行われた。

表彰式には農林水産省から、林芳正農林水産大臣、三浦進農村振興局長、小林祐一同局次長ら幹部が出席し、全国から受賞者、関係者が参加しました。

らに前に進め『強い農林水産業』『美しく活力ある農山漁村』の実現に全力で取り組んでいく。本日表彰の栄に浴される土地改良区、団体又は個人の皆様は、それぞれの地域の特性に応じて、最新の技術の活用、地域住民との連携、担い手への農地集積、農産物の高付加価値などに積極的に取り組み、団体の良好な運営、農業の生産性の向上、個性ある地域づくりに大きな成果を挙げてこられた。このような皆様方の活動の重要な契機をなすものが農業農村整備事業であり、今後ともその一層の推進に努めてまいる所存で有ります」と述べました。

山梨県関係の団体、個人の受賞者は次の方々です。

第五十六回全国土地改良功労者

団体の部

金章表彰

明野茅ヶ岳土地改良区(清水岩男理事長)

銀章表彰

小曲土地改良区(飯野健彦理事長)

銅章表彰

本途堰土地改良区(小林邦生理士長)

個人の部

石川 幸三

(釜無川右岸土地改良区連合専務理事)



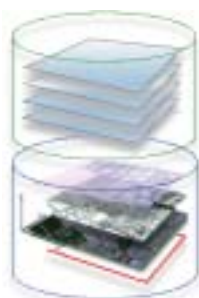
山梨県表彰者

◎水土里情報システムの活用

本会では、平成19年度から関係機関の協力で、水土里情報利活用促進事業(農林水産省)により農業振興地域の水土里基盤図(航空写真、地形図、農地筆図等)の整備を行いました。これに耕作放棄地状況や鳥獣害防止柵設置状況等を付加することで、農業農村地域の現状把握が可能となっています。また、平成23年度には、県、市町村、県土連の共同による県全域の航空写真(精密デジタルオルソ)の整備を実施し情報の更新をしています。

こうした情報を有効に活用するため県土連では、独自開発による水土里情報GIS(地理情報システム)の会員への提供を行い、水土里情報基盤図の有効活用を支援しています。

< 水土里情報イメージ >



利用機関保有情報

農地筆図または全筆図
航測地形図(1/2,500)
航空写真(1/2,500 精密オルソ)
航空レーザー(赤色立体図)
標高データ(メッシュ標高)



< 山梨県土連GIS画面表示 (web型) >

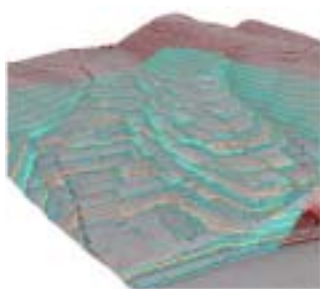
<赤色立体図の活用>

平成24年度に航空レーザー計測成果（1mメッシュ標高値）から作成した赤色立体地図（特許 アジア航測）を整備しました。この赤色立体地図は、航空写真だけでは確認することの出来なかった詳細な地表の状況を確認でき、現地にあった資料作成やシミュレーションが可能となります。

県土連では、これを積極的に活用すること精度の向上を図っています。

<赤色立体図を活用した受託業務>

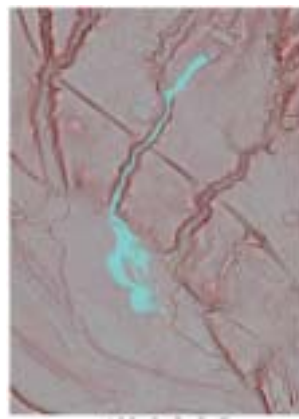
- ・水路の断面検討における流域の確定
- ・ため池の氾濫解析シミュレーション
- ・道路計画における路線選定（縦断勾配）等の計測



<赤色立体図に等高線を表示>



<航空写真によるハザードマップ>



<赤色立体図によるハザードマップ>

◎三次元空間設計システムの活用

県土連では、本年度より三次元空間設計・解析システムを導入しました。

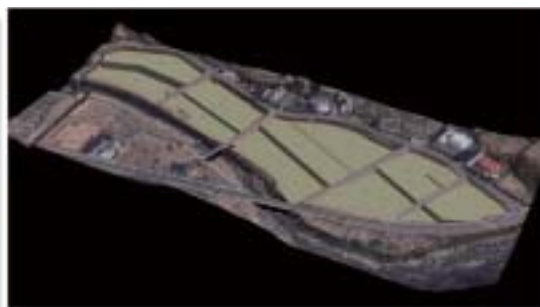
このシステムは、様々な解析ツールが用意され、流水経路、傾斜分布、任意点での断面、堆砂計算、がけ崩れ、土石流などの地形の変化量の計算他様々です。

また、これらの計算結果を視覚的に分かりやすく表示することも可能となります。

今後、受託業務における段階的な検討や地元説明資料等に積極的に活用することとしています。



<従来の航空写真による構想計画>



<三次元システムによる構想計画>



やまなし農村風景写真コンクール

応募方法

➤ テーマ ふるさと つなげよう故郷のちから

農村は食料生産の場であり人々の大切な生活の場でもあります。その魅力と役割を見つめ、伝え、繋げ、これからの未来ある力強い農業農村を築いていくことが、私たちの役割ではないでしょうか。

今回は、山梨の桃源郷をはじめとした美しい農村景観、農家の方々が丹精込めて作った農産物、田植えや収穫等の農作業、活気ある農村生活や伝統のお祭りなどの作品を募集します。もちろん風情のある四季の農村風景写真も応募できます。

➤ 応募作品の規定

カラープリント四切(254mm×305mm)またはワイド四切(254mm×365mm)で合成処理の加工をしていないものに限りです。

フィルム(リバーサル、ネガ)の使用を基本としますが、デジタルカメラで撮影した作品の応募も可能です。ただし、写真のプリントは銀塩プリントを極力使用してください。また画像の加工・修整した作品は失格とします。

➤ 応募資格

どなたでもご応募いただけます。ただし、暴力団関係者からの応募はできません。後日発覚した場合は取り消します。

本人撮影の作品であっても、同じあるいは類似した写真を他のコンクールや雑誌等への応募/投稿は出来ません。2重応募作品あるいは類似した写真が確認された場合は、授賞を取り消します。

小学生から高校生までは、学校名・学年を必ず明記してください。

■ 応募上の注意

●平成24年9月1日以降に山梨県内で撮影したものとします。

●作品の裏面に、このリーフレット下部の応募票(コピー可)に必要事項を記入して貼付してください。

●被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負いません。応募に際しては必ず本人(被写体)の承諾を得てください。

●応募点数の制限はありませんが、入賞は原則1人1点とさせていただきます。

●入賞作品の使用権は主催者側に帰属するものとします。また入賞作品については主催者の指定する日までに原版(ポジ、ネガ、データなど)を提出していただきます。(入賞候補者へ個別にご連絡します。また、デジタルデータについて撮影日が不明の場合は再提出あるいは修整とみなす場合があります)

●入賞作品は、山梨県が作成する各種広報資料(ポスター、冊子等)やイベント等の展示に使用します。

●作品の返却を希望される方(入賞を除く)のうち、カメラ商組合から山梨フジカラー経由で着いた写真のみ山梨フジカラー経由でカメラ商組合に返却します。それ以外の方で郵便により返却を希望する場合は、返却先を記載し、必要分の切手を貼った返却用封筒に住所、宛名を記入して応募作品に同封してください。返却用封筒・切手が同封されていないもの(山梨フジカラー経由によらないカメラ商組合への返却を含む)及び入賞作品については返却できません。

お送りいただいた個人情報、写真コンクールの事務手続及び入賞作品の発表や印刷物等への使用時における作者表示に使用するものとし、それ以外の目的に使用することはありません。

➤ 応募先

山梨県農政部耕地課までお送りください。

〒400-8501

甲府市丸の内一丁目6番1号(山梨県庁本館6階)

お問い合わせ電話番号 055-223-1627

また、山梨県カメラ商組合加盟店(写真店)にお持ちいただくこともできます。

➤ 応募期間

平成27年4月1日(水) から8月31日(月) まで
当日消印有効

➤ 審査

白旗史朗氏(審査委員長)、山梨県農政部長ほか審査委員による審査を行い、入賞作品を決定します。

➤ 発表

平成27年10月に入賞者を発表します。

入賞者には、受賞決定通知を郵送するとともに、県ホームページ、新聞紙上で発表します。

作品大募集!



テーマ

ふるさと

つなげよう故郷のちから

第8回知事賞【梅の里】星野 郁男氏撮影

応募締切
平成27年8月31日(月)

主催 山 梨 県

後 援 (順不同)

NHK甲府放送局

(株)山梨放送

(株)テレビ山梨

(株)山梨日日新聞社

山梨県土地改良事業団体連合会

(株)山梨フジカラー

山梨県カメラ商組合



〈お問い合わせ先〉
山梨県農政部耕地課内
写真コンクール事務局
TEL 055-223-1627

農業の夢を語ろう! 専門学校山梨県立農業大学校

◆学校説明会(年5回 養成科・専攻科共通)
6月20日(土) 7月25日(土) 8月21日(金)
9月12日(土) 10月31日(土)

※詳細は、電話0551-32-2269まで

◆推薦入試 ◇一般入試(前期/後期)
養成科 推薦入試 10月14日(水)
養成科・専攻科 前期一般入試 12月8日(火)
養成科・専攻科 後期一般入試 2月16日(火)

ごあいさつ

本年度も会員各位のご支援・ご協力を
よろしく願います。

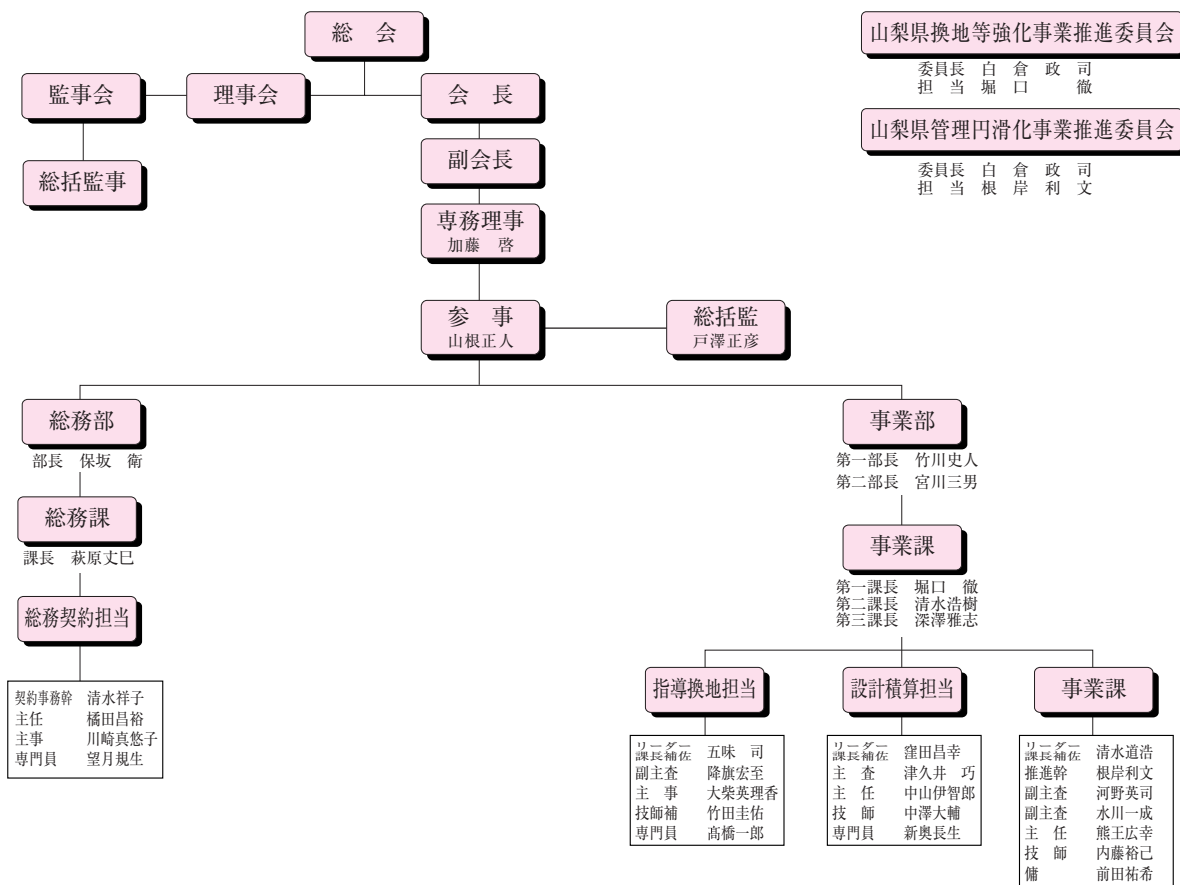
水土里ネットやまなし

(山梨県土地改良事業団体連合会)

会長	北杜市長	白倉 政司
副会長	甲斐市長	保坂 武司
〃	甲州市長	田辺 篤
専務理事	学識経験者	加藤 啓
理事	中央市長	田中 久雄
〃	笛吹市長	倉嶋 清次
〃	都留市長	堀内 富久
〃	笛吹川沿岸土地改良区理事長	望月 清賢
〃	山梨市長	望月 清賢
〃	身延町長	望月 清賢
〃	市川三郷町長	久保 眞一
〃	丹波山村長	岡部 幸一
総括監事	徳島堰土地改良区理事長	野田 正資
〃	上野原土地改良区理事長	奈良 明彦
〃	桶無堰土地改良区理事長	今村 正城
総括監	〃	戸澤 正彦
参事	〃	山根 正人
他職員一同	〃	〃

山梨県土地改良事業団体連合会機構図

(平成27年 4 月 1 日 現在)



第五十七回通常総会におきまして新しい役員が承認されました。役職員一丸となつて会の運営を行つていく所存です。本年度も相変わらず関係各位のご支援・ご協力をお願いするものでございます。「水土里情報システム」を活用した新たな取り組みとして3D空間設計・解析システムを導入しました。平面的視点に加えて、立体的な視点から土地の形状や高さ等が確認できるようにしました。会員の皆様におかれましては各種「基本構想づくり」にご利用していただきたくと考えております。

当会職員も、一人一資格以上を目指すとともに、研修会等に参加し技術力の向上を図り、会員のみなさまの要望に応えられる連合会である様に努力して参りますので、よろしくご指導のほどお願いします。

専務理事

よとがき

農業農村整備事業の
調査設計・測量・換地確定測量業務
農業集落排水事業・水土里情報関連
は最新の技術で応える土地連へ

山梨県土地改良事業団体連合会
土地改良相談室

建設コンサル登録：農業土木部門
平成23年 4 月 8 日



〒400-8587 山梨県甲府市蓮沢1丁目15番35号 山梨県自治会館5階
TEL 055-235-3653 ● FAX 055-228-8174
URL: <http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail: syomu@yamanashi-doren.or.jp